

伊豆大島

○概況（平成 14 年 5 月）

火山活動に特別な変化はなく、落ち着いた状態が続きました。

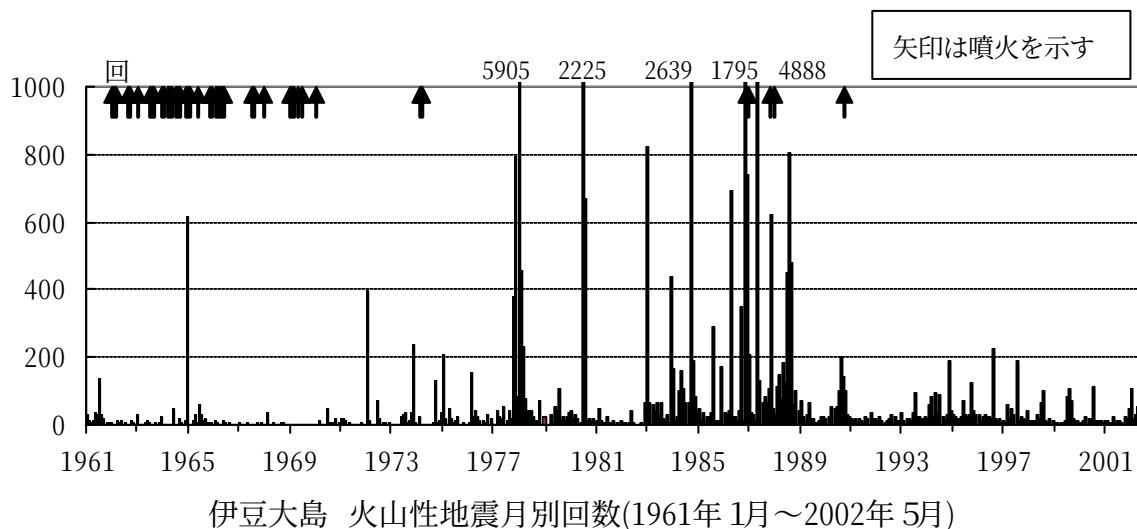
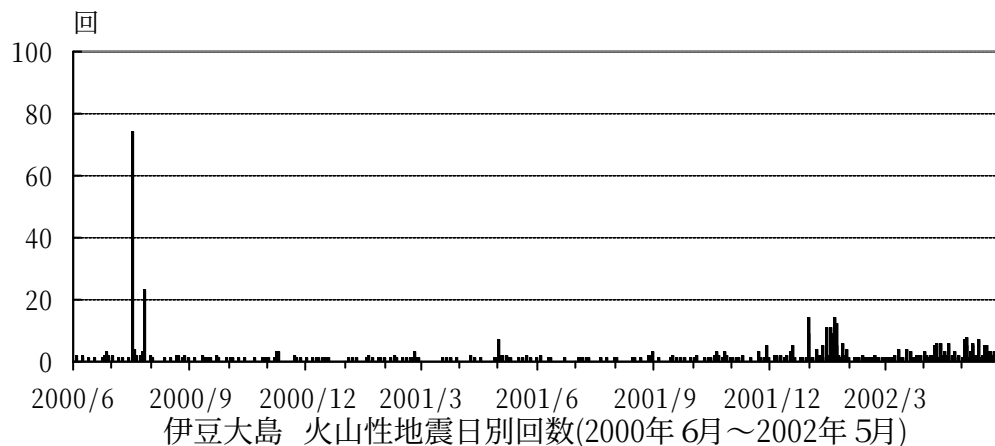
○地震活動の状況

地震の発生状況は、微小な地震がほとんどで、静かな状態が続いています。

火山性微動は、観測されませんでした。

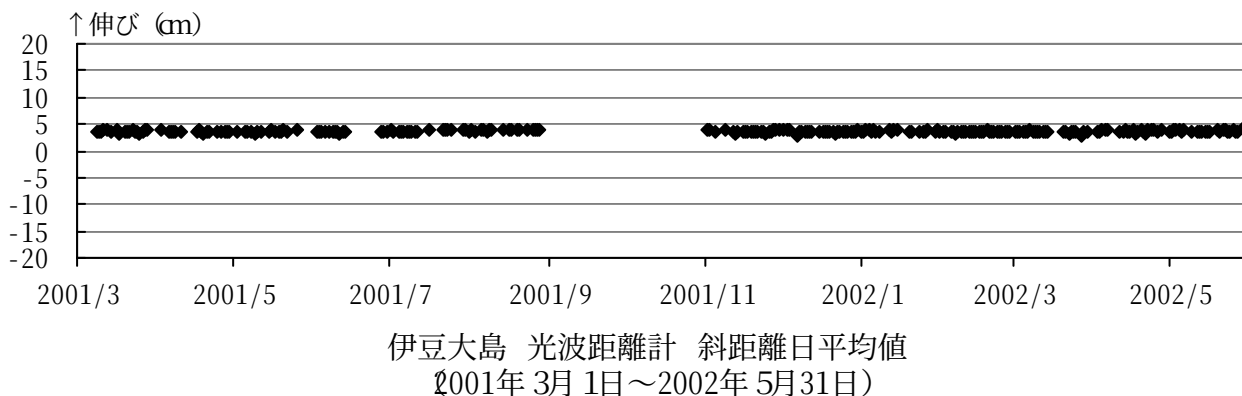
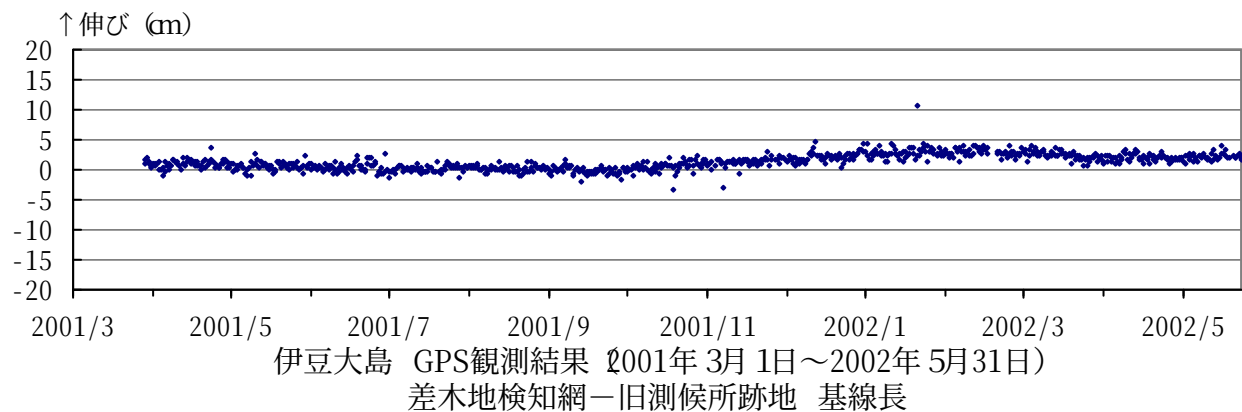
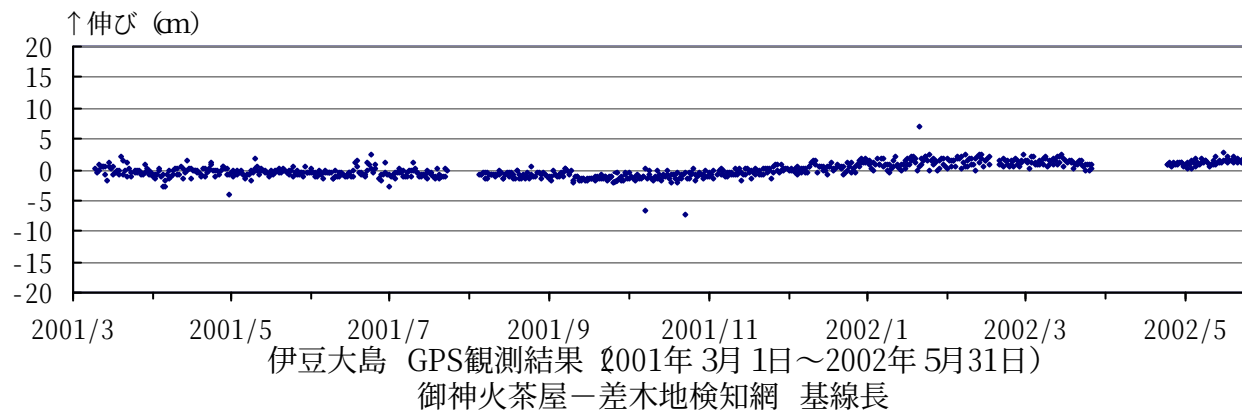
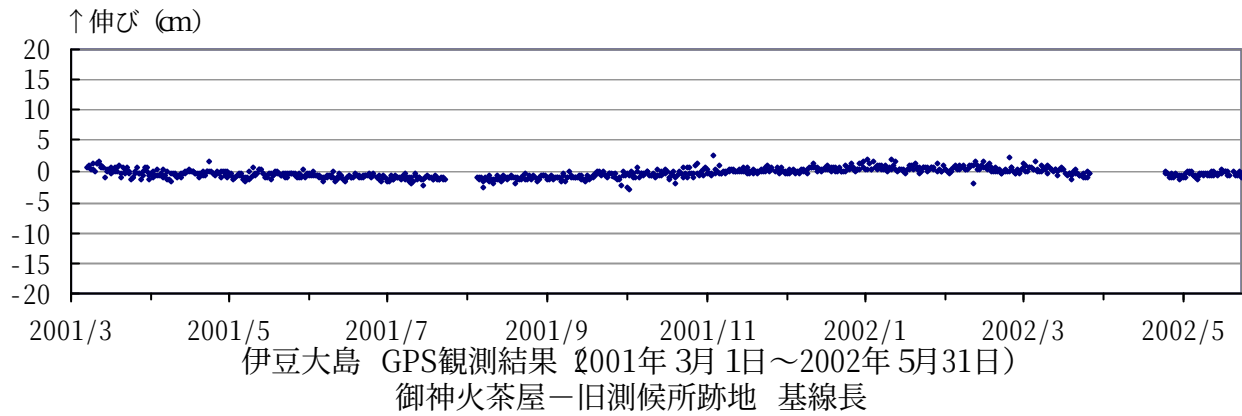
火山性地震日別回数表（伊豆大島）

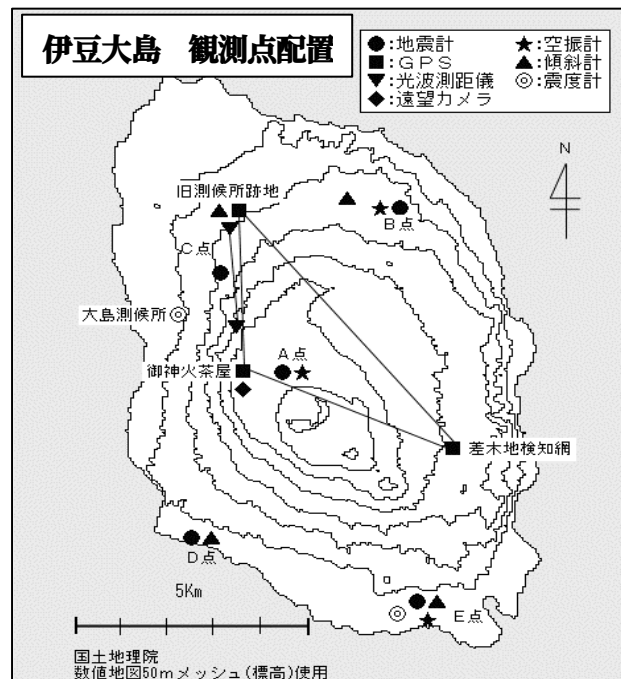
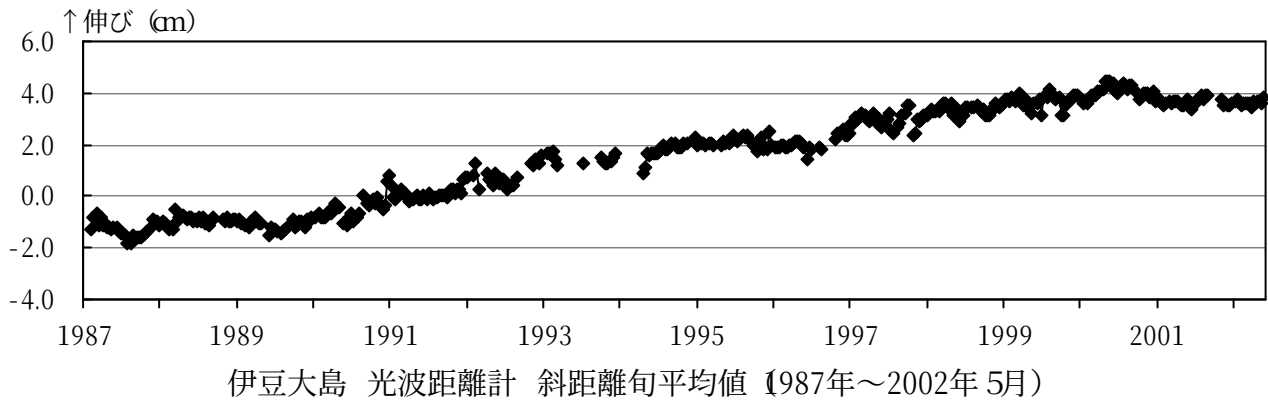
上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日		旬計	
	1	7	8	5	3	0	3	6	5	2		40	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日		旬計	
	2	4	8	0	1	2	2	5	5	3		32	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	旬計	月計
	3	3	3	4	4	4	9	7	13	3	7	60	132



○地殻変動の状況

光波距離計の観測では、長期的には膨張傾向が続いていましたが、2000 年以降は停滞しており、大きな変化はありません。GPS および傾斜観測でも大きな変化は観測されませんでした。



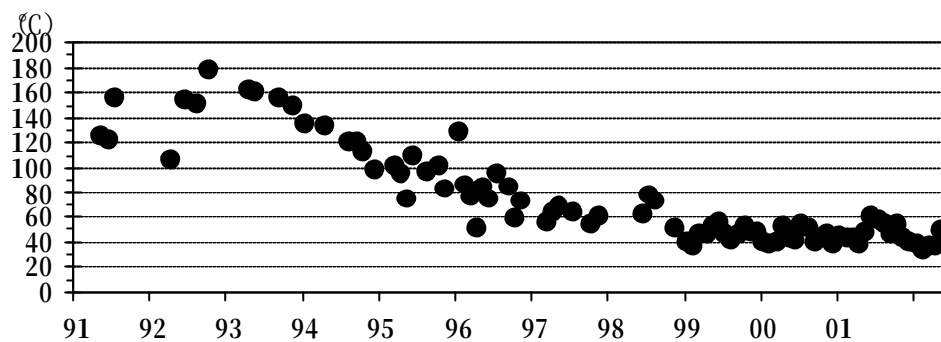


○噴煙活動の状況

遠望カメラによる観測では、噴煙は観測されませんでした。

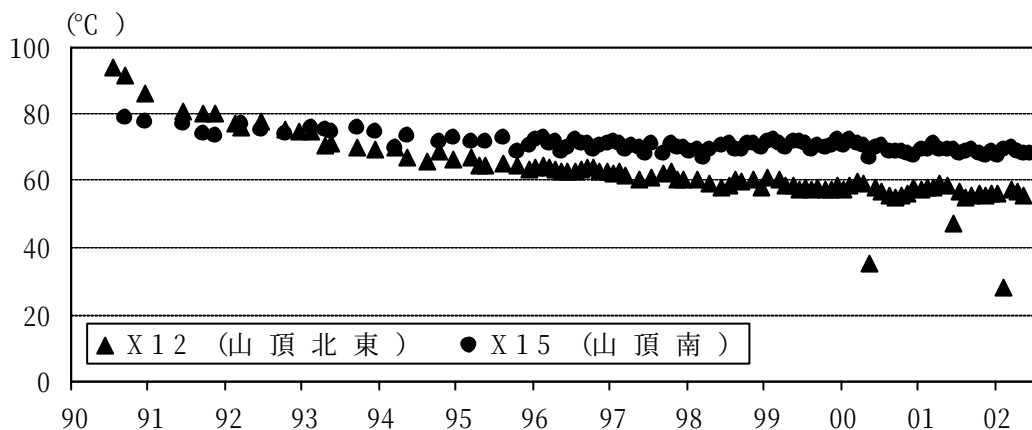
○火口観測

5月15日におこなった火口底の地表面温度の観測結果は 49.9℃ (赤外熱映像装置による) でした。火口底の温度は 1999 年頃以降 50℃前後で変化のない状態が続いています。また、5月14日に山頂南の噴気孔でおこなった温度観測の結果は 68℃ (サーミスタ温度計による) でした。山頂南の噴気孔の温度は 1995 年頃から 70℃前後で推移しており、今回の観測でも以前に比べて大きな変化はありませんでした。



伊豆大島 火孔底地表面温度（1991年～2002年 5月）

＊赤外放射温度計（2002 年 5 月は赤外熱映像観測装置）による。



伊豆大島 噴気温度観測結果（1990年 1月～2002年 5月）

伊豆大島現地観測点図

- 噴気温度観測定点
- ▲ ビデオカメラ観測定点
- ◆ 写真観測定点
- ★ 赤外放射温度観測定点

